

令和5年度 第2回瑞浪市健康づくり計画策定会議

会議の日時: 令和5年10月13日(金) 午後1時30分から午後3時

場 所: 瑞浪市保健センター2 階保健指導室

出席者: 古積委員、大塩委員、石川委員、工藤委員、堀田委員、土本委員、梶田委員、水野委員、渡邊委員、有賀委員、成瀬委員、鵜飼委員

欠席者: 河北委員、水野委員、野々垣委員

事務局: 藤本次長、和田課長、加藤課長補佐、小木曾主任主査、加藤係長、日比野
総括主査

議事:

1 開会

開会及び会議成立宣言 15名の委員数に対し、出席者が充足しており、会議成立。

2 会長挨拶

会長よりあいさつ

3 議題 みずなみ健康 21(第3次)の素案について(資料 1)

資料に基づき事務局説明

委員: 評価の見方がわからない。

色々データがあるため、特に対象者などについて可能な限り記載するように。

事務局: 評価の見方については、26ページに掲載している。対象者についてはそのように修正する。

会長: 6ページの第2章の瑞浪市の人口の推移について、別の委員会の資料と違う。同じ市から出ている資料でなぜ違いがあるのか。

2つ目に、8ページの死因は死亡診断書をもとに作成したものか。

事務局: 死因はお見込みのとおり。健康づくり計画は上位計画の第7次総合計画と同一のデータにしている。

委員: 8ページ死因について、令和3年が令和2年より増加しているのは、コロナの影響か。

事務局: コロナの影響かはこのデータのみでは不明。ただ、死亡原因は最終的な死亡原因であり、例えば心疾患等を患っていたとしても違う原因で死亡した場合はここにはあがらない。死亡原因のみではなく、受療の状況などを確認しながらみていく必要がある。

委員: データの見方・評価方法について、計画の期間は、第2次は平成28年から令和2年、改定版が令和3年から令和5年であるが、掲載されている値は、その年の値をみているのか、平均をだしているのか、8年分をみているのか。

事務局: 改定版の当初値は項目により多少の差があるが、H30年のデータが多い。同

様に、評価値は、最新値となり、令和4年や令和3年とデータによって異なる。

委員：評価について、H30とR4と単年だけで、比較するのはおかしいのではないかと。平均して段々増えていったならば『悪化した』といえるが、単年だけで評価してよいか。

事務局：目標については、最終年度の最新値について、評価するものと認識している。推移については、例えば42ページの下『う歯のない3歳児』のグラフのように、年度の推移をみながら次期計画の対策を考えている。

委員：計画内のデータには、KDBデータ、市実績など様々あり、データ基を同じにしないと年度比較できない。

瑞浪市独特の分析データを特徴的な部分として出すと良いのでは。

事務局：委員からの提案については再度検討する。また、国や県がどのように評価しているのか確認する。第1次、第2次は同様の評価としている。

委員：53ページのがんの目標値は他の項目より高いが、達成見込みがあるか。

事務局：国の目標値を採用した。

会長：理想はわかるが、現実的な数値を置いた方が良いと思う。理想が高いことが悪いとは思わないが。

会長：49ページのこころの健康で、不登校が多く、なかなかなくなる。先生方は対策をしているが、市としてどのような対策をしているのか。

委員：学校に直接相談に行かれるケースが多い。教育支援センターに相談することもある。そこには先生が常駐しているので、そこに通うケースもある。

会長：そこに通っている人は、また学校に戻すのか。

委員：学校の中にも会議室等で支援センターのように教室が作られている。常駐の先生がおり、対応している。現在、中学校にはあるが、小学校はない。

会長：進学時、学校に行かず通信で教育を受けることもあると聞くがどうか。

委員：通信教育の学校も増えている。多様化の時代でもあるので、今は社会に戻すことを目標に行っている。学校に戻れないことが悪いことにならないように、支援している。

委員：83ページ小学5年生を選んだ理由はどのような理由か。

事務局：血液検査を実施している学年が、小学5年生と中学2年生であるため。

委員：33ページの『生涯学習の一環として、各公民館において…』とあるが、公民館はどのようなイメージか。地区公民館は、瑞浪、土岐、明世にはない。地域交流センターときわでは、無料講座を実施していることもあるので、今後、地区公民館のない地区でも行われるような形をとってほしい。中央公民館は市全体を対象とした講座はあるが、地区を対象とした講座は残念ながら無い。

多くの課と連携していることはよくわかる。

事務局：目標達成に向け、各課の対策を毎年見直ししながら進めていく。

委員：各課の対策はよくわかったが、市民の立場で見ると、健康づくりをどのようにしたらよいかかわからなかった。個人的な意見だが、健康づくりをどう進めるかという視点でみると、①健康に関する知識の理解と促進、②健診の推進、早期治療の促進、③体力の維持、増進という3つの視点で分類するとわかりやすいのでは。

事務局：様々な課との連携もあり、この形にしている。提案について今一度検討する。

会長：他に意見はないか。

委員：意見無し。

事務局：その他 今後のスケジュールについて説明

意見・提案について再度検討し、修正し、その後パブリックコメントを実施する。

期間は、12月1日から1月5日。

パブリックコメントの結果を第3回の会議で報告する。